

## 2026 年度一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 定時社員総会議題

日 時：2026 年 6 月 20 日（土）13 時 00 分～15 時 00 分  
開催形式：WEB 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン開催  
議 場：日本体育・スポーツ・健康学会事務局

### 議事に先立って

1. 定足数の確認
2. 会長挨拶
3. 議長の選出
4. 議事録署名人の選出

### 審議事項

1. 2025 年度事業報告について (資料 1, p. 2)
2. 2025 年度収支決算について  
(1) 決算報告について (資料 2-1, p. 10)  
(2) 監査報告について (資料 2-2, p. 22)
3. 2028 年度および 2029 年度学会大会主管校候補について (資料 3, p. 23)
4. 80 年記念誌特別委員会の新設について (資料 4, p. 24)
5. 体育史専門領域の名称変更に伴う諸規程の改正について (資料 5, p. 25)

### 報告事項

1. 第 76 回大会（北翔大学）の準備状況について
2. 第 77 回大会（東京学芸大学）の準備状況について (資料 6, p. 26)
3. 2026 年度諸会議日程について (資料 7, p. 27)
4. 本学会における研究倫理について
5. その他

## 2025 年度事業報告（案）

## 1. 常設委員会の活動

## (1) 理事会・総会

1) 2025 年度理事会、総会等を下記の日程で開催した。

理 事 会：2025年4月19日（土）、5月17日（土）、7月19日（土）、  
8月19日（火）、10月25日（土）、12月20日（土）、  
2026年3月14日（土）

定時社員総会：2025年6月7日（土）

臨時社員総会：2025年8月27日（水）

## (2) 運営委員会

- 1) 2025 年 6 月 7 日開催の定時社員総会については、WEB 会議ツール「Zoom」を併用したハイブリッド形式にて開催した。
- 2) 2025 年 8 月 27 日開催の臨時社員総会を対面形式にて開催した。
- 3) 80 年記念誌のスケジュール及び 80 年記念誌特別委員会の設置について理事会で承認を受けた。
- 4) 2028 年度学会大会主管校候補について検討し、理事会で承認を受けた。
- 5) 2029 年度学会大会主管校候補について検討し、理事会で承認を受けた。
- 6) 体育史専門領域名称変更の申請に対し、審査委員会からの審査結果報告を受け、2025 年定時社員総会で承認を受けた（新名称：体育・スポーツ史）。
- 7) 阿江美恵子奨励賞の創設について検討し、定時社員総会にて奨励賞規程の承認を受けた。
- 8) 学会大会委員会と共同で第 76 回大会の会員企画の募集について検討し、理事会で承認を得た。
- 9) 学会大会委員会と連携し、大会が中止になった場合の対応について検討した。
- 10) 2025 年度国外学会参加補助金申請（26 件）を受けて、選考特別委員会を設置し、審査を行った。
- 11) 第 14 回教育関連学会連絡協議会総会に出席し、意見交換を行った。
- 12) 若手研究者委員会と連携し、緊急公開シンポジウム「教員養成における一般教養科目としての体育の役割と課題を考える」の企画運営を行った。
- 13) 日本スポーツ体育健康科学学術連合、日本体力医学会、全国大学体育連合と連携し、「教職課程における「体育」の教育的機能の再構成に関する要望書」を準備した。
- 14) 書籍の出版について協力を行った。
- 15) 理事会通信と議事次第を配信した。

## (3) 庶務委員会

- 1) 2025 年度事業計画の実行を諸委員会と連携を図りながら進めた。
- 2) 2024 年度事業報告を作成した（定時社員総会承認）。
- 3) 2026 年度事業計画（案）を作成した（臨時社員総会承認）。

- 4) 2026年4月1日付け名誉会員について検討した（臨時社員総会承認）。
- 5) 2027年度名誉会員について候補者8名を推薦することを提案した。
- 6) 2027・2028年度役員選挙にWeb投票を導入するために役員等選挙規程を改正した（臨時社員総会承認）。
- 7) 2027・2028年度地域選出代議員選挙並びに専門領域選出代議員選挙の選挙スケジュールの変更を行った（臨時社員総会承認）。
- 8) 2027・2028年度選挙管理委員を選出した。
- 9) 2027・2028年度代議員選挙（Web選挙）並びに役員選挙に関する公示を行った。
- 10) 2025年度協力学会助成金の配分方式を検討し、助成金の申請を受け付けた。
- 11) 2025年度学会賞等の選考を「学会賞選考委員会」において実施した（臨時社員総会時に授与）。
- 12) 2025年度浅田学術奨励賞の選考を「浅田学術奨励賞選考委員会」において実施した（臨時社員総会時に授与）。
- 13) 学会賞・浅田学術奨励賞受賞論文のIJSHSへの二次出版について、2025年度の対象論文を選定した。
- 14) 常勤職にない若手会員に対する年度会費減免措置（申し合わせ）に基づき、14件の申請のうち12件について許諾した。
- 15) 休会制度に関する申し合わせに基づき、2026年度の休会申請5件、復会申請2件について許諾した。
- 16) ダイバーシティ委員会とともに、代議員選挙における性別割合の目標値について課題の共有を行った。
- 17) 会員数（2026年3月31日現在）  
正会員：5,471名（2025年3月31日、5,545名）、賛助会員：4名、名誉会員：208名、顧問会員：0名、購読会員：47名

#### (4) 会計委員会

- 1) 2024年度収支決算書を作成した（定時社員総会承認）。
- 2) 地域及び専門領域への補助金の配分を行った。
- 3) 2025年度補正予算を作成した（臨時社員総会承認）。
- 4) 2026年度予算書を作成した（臨時社員総会承認）。
- 5) 日本教育シューズ学校体育振興基金に補助金申請を行い、補助を受けた。
- 6) 学会大会参加者への還元策（ライフイベント支援）についてダイバーシティ委員会と連携し、審査を実施した。
- 7) 学会運営に伴う旅費規程について、社会情勢を踏まえた柔軟な運用方針を提案し、承認を得た。

#### (5) 「体育学研究」編集委員会

- 1) 「体育学研究」第70巻に投稿論文51編、その他2編をオンラインジャーナルとしてJ-Stageに掲載した。ただし、投稿論文52編中1件の撤回があり、51編の掲載となった。なお2025年の投稿数は126編であった。

- 2) IJSHS への二次出版投稿申請を 7 件受け付けた。
- 3) 「体育学研究」審査体制検討特別委員会からの改革案に基づき、各種規定の文言修正を検討した。

(6)「IJSHS」編集委員会

- 1) 「International Journal of Sport and Health Science」第 23 巻をオンラインジャーナルとして J-Stage に掲載した。
- 2) 年間投稿数は 30 編、掲載数は 11 編であった。

(7)学会大会委員会

- 1) 第75回大会（2025年8月27日～8月29日）を主管校（日本体育大学）選出の組織委員と連携を図りながら企画・運営した。
- 2) 第75回大会抄録データをJ-Stageへ掲載し、同データを大会Webサイト上でも一般公開した。
- 3) 第76回大会（於：北翔大学、2026年8月31日、9月1日、2日）の運営について、主管校と本部（理事会及び学会事務局）との業務分担を検討し、明確化した。
- 4) 第76回大会を主管校選出の組織委員と連携を図りながら準備している。
- 5) 学会大会協賛の価格改定を行った。
- 6) 学会大会期間中の外部団体の施設利用について、申請書類の作成を行った。
- 7) 「台風等による開催形式の変更、中止に伴う協賛企業・団体への案内について」改正を行った。
- 8) 「学会大会開催の手引き」開催形式について改定を行った。
- 9) 第76回大会、8月31日開催予定の札幌コンベンションセンター会場で行う、会員企画の公募要領、会員企画の申請書類の作成を行った。
- 10) 「学会大会開催の手引き」の改定について、理事会の承認を得た。

(8)国際交流委員会

- 1) 国際交流協定に基づき 2025 年 8 月 20 日～23 日に韓国で開催された The 37<sup>th</sup> International Sport Science Congress2025 に石坂友司理事を派遣した。
- 2) 国際交流協定に基づき 2025 年 9 月 17 日～20 日にマレーシアで開催された NAPERSS 1st overseas International conference 2025 に大須賀洋祐会員と越田専太郎会員を派遣した。
- 3) 国際交流協定に基づき 2025 年 9 月 16 日～19 日にドイツで開催された 27. sportwissenschaftlicher Hochschultag der Deutschen Vereinigung für Sportwissenschaft (dvs)に深代千之会員と小田佳子会員を派遣した。
- 4) 第 75 回大会において、以下の海外招聘研究者を受け入れた。

韓国

Dr. Suk-Kyu Kim (Dongkuk University)

Dr. Dong-Hyun Lee (Sangmyung University)

インド

Prof. P.P. Satya Paul Kumar (Acharya Nagarjuna University)

Prof. Ramachandran Elangovan (Indian Yoga Association)

学会大会では、情報交換会で意見交換・記念品贈呈・写真撮影などを行い、来日を歓迎した。

また、国際交流協定学会を通じて18名の参加があり内9名のポスター発表があった。

(韓国13名、台湾5名)

- 5) 国際交流協定に基づき 2026 年 2 月 12 日～14 日にインド・ゴアで開催された International Conference on Physical Education and Sports Sciences (ICPESS) 2026 に欠畑岳会員と薄井好人会員を派遣した。
- 6) 第 76 回大会の海外招聘に関して、5 つの協定学会 (インド・ドイツ・韓国・台湾・中国) に対し、連絡を行った。
- 7) 日独スポーツ科学会議特別委員会設置の準備をした。
- 8) 国際交流に関わる情報を収集し、学会ホームページを通して会員に随時通知した。
- 9) 海外からの問い合わせに随時回答を行った。

#### (9) 企画委員会

- 1) 第 76 回大会 (北翔大学) の大会テーマを提案した。  
テーマ：地域変革へのスポーツ実践と科学の貢献  
—ウエルビーイング実現に向けた「集まる・つながる共生社会」を目指して—  
Contributions of Sports Practice and Science to Community Innovation:  
Toward an “Inclusive Gathering and Networking Society” to Promote  
Well-being
- 2) 第 76 回大会における本部企画 (シンポジウム) を大会組織委員会 (主管校)、理事会、各委員会と協力してまとめた。  
○基調講演  
演 題：スポーツを通じて誰もが自分らしく生きられる社会へ  
演 者：河合純一氏 (スポーツ庁長官)  
○シンポジウム1  
テーマ：地域変革へのスポーツ実践と科学の貢献  
—新たなスポーツ振興による地域活性化の検証—  
○シンポジウム2  
テーマ：人々のスポーツライフと健康の追求  
—健康とスポーツの関係がもたらす幸福 (well being) と不幸 (ill being) —

#### (10) 広報委員会

- 1) ホームページ (以下、HP)、Facebook (以下、FB)、Instagram (以下、Ig) の充実と活性化について検討を重ねると共に、他委員会との連携、他機関とのリンク等を進めた。
- 2) 各種情報の収集 (教員公募・学会開催・シンポジウム開催案内等) と HP・FB・Ig 上での周知を行った。

- 3) 第 75 回大会において、会場の様子を写真に撮影し、FB や Ig に掲載した。
- 4) HP における「日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会」ページに連載しているコラムリレー (Vo. 93~Vol. 103) を掲載した。
- 5) HP のお知らせにおいて、「ICSSPE ニュースレター (発行時に随時配信)」を掲載した。
- 6) HP サイドバナー「専門領域の特徴」に、専門領域から提出された記事を掲載した。
- 7) 本学会単独で行われている広報活動を地域協力学会及び専門領域 (以下、関連学会と呼びます) と連携するため、本学会及び関連学会がそれぞれ独自に撮影などをして所有している写真や動画コンテンツを相互に共有する基盤を構築した。
- 8) 2026 年度に予定されている公式 HP の更新作業にかかる見積、理事会検討を行い、更新準備を行った。

#### (11) 研究倫理委員会

- 1) 堂園俊彦先生 (静岡大学) の科研費研究「倫理委員会における規制対象外研究の適切な審査に関する研究」に関して、本学会の倫理審査の優先順位及び研究倫理運用規程に基づく対応を示した。論文には承認番号と配慮内容を記載し、研究倫理綱領及び研究者の倫理に関する覚書を遵守すること、APRIN e の受講を推奨しインフォームドコンセントのチェックシートを提示していることを回答した。
- 2) 第 76 回大会の大会参加・演題登録システムでは、演題申し込み時に「倫理的配慮について」のページを設定した。「人を対象とした研究」については、倫理審査を受けることを推奨するとともに、審査を受けていない場合の倫理的配慮を促した。
- 3) 研究倫理委員会規程及び研究倫理運用規程に基づき、倫理審査機関・組織を有しない会員を対象とした倫理審査の運用を推進しているが、本年度は特に問い合わせ及び申請はなかった。

#### (12) 政策検討・諮問委員会

- 1) 日本体育・スポーツ・健康学会第 76 回大会本部企画シンポジウムの企画案「スポーツ政策における体育の意義を考える-国際的なスポーツ政策の潮流における体育の位置づけ-」を作成し、提案したが、不採択であった。
- 2) 本委員会を学会内部に関する事項 (学会内部の改革等) を担う部会と学会外部に関する事項 (学会外部に対する政策提言等) を担う部会の 2 部会制にした。
- 3) 理系分野の投稿促進方策及び今後の応用 (領域横断) 部会のあり方について検討した。
- 4) 第 4 期スポーツ基本計画のスポーツ庁ヒアリングに対して資料を作成し、政策提言を行った。

#### (13) 学術連合連携委員会

- 1) オンライン形式での総会に本学会として出席した。
- 2) 学術連合の運営委員長として、日本学術会議法案に関する日本体育スポーツ健康科学学術連合運営委員会声明、教育職員免許法施行規則第 66 条 6 の取り扱いに関する

声明文、教職課程における「体育」の教育的機能の再構成に関する要望書、加盟学会による補助金申請等に関わる審議運営を行った。

(14) ダイバーシティ委員会

- 1) 第 75 回大会において、学会参加時の子育て・介護などに対する経済的支援（ライフイベント支援）を実施した。また第 76 回大会においても継続して実施することとした。
- 2) 本学会における情報保障のあり方に関して、「学会大会における情報保障のあり方を検討する」と題するセミナーを、2025 年 9 月 30 日（火）18:00-19:30 にオンラインにて実施した。
- 3) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）より、次期理事会（2027 年 7 月～2029 年 6 月）における幹事学会の依頼があり、本理事会にて審議を行った。その結果、本理事会として当該任務をダイバーシティ委員会の業務とし、次期理事会へ引き継ぐことが承認された。
- 4) ダイバーシティ研究環境の調査及び整備について、関連組織との連携を深めるため加入している人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）の運営委員会（年 2 回のうち 1 回）に参加した。
- 5) 庶務委員会とともに、代議員選挙における性別割合の目標値について検討を行ったが、2027-2028 年度の選挙について具体的な目標値を示すには至らず、2029-2030 年度の次期選挙までの課題となった。

(15) 若手研究者委員会

- 1) 「日本体育・スポーツ・健康学会若手の会」メーリングリスト（ML）を運用し、コラム（若手会員の研究紹介）や学会・セミナー等の案内を月 1、2 回程度配信した。
- 2) 2024 年度の第 74 回大会の本部企画シンポジウム 1「体育・スポーツ・健康科学のなかの共生を考える—応用（領域横断）研究部会の成果と課題の検証—」に先立ち実施した会員向けアンケートの結果をまとめた報告論文『「応用（領域横断）研究部会に関するアンケート」の報告』を執筆し、体育学研究 Report 号への掲載手続きを行った。
- 3) 2025 年度の第 75 回大会の本部企画シンポジウム 2「身体性の価値を再考する—冗長性や不可視性を手がかりに—」を企画、実施し、報告書をまとめた。
- 4) 2026 年度の第 76 回大会の本部企画シンポジウムの公募に対して「人々のスポーツライフと健康の追求：健康とスポーツの関係がもたらす幸福（well being）と不幸（ill being）」をテーマに提案し、採択された。シンポジウム当日に向けた準備を進めている。
- 5) 緊急公開シンポジウム 2025「教員養成における一般教養科目としての体育の役割と課題を考える」を主管し、企画開催に向けた提案、調整を行うとともに、委員が当日のコーディネーターを務めた。
- 6) 第 6 回日本体育・スポーツ・健康学会若手の会セミナー「成果の出なかった研究に意味はあるのか—方法論を超えて考える探究のリアル—」（対面・オンラインのハ

イブリッド開催、2026年3月20日)を企画、運営、開催し、報告書をまとめた。

- 7) 「体育系若手研究者の教育・研究・生活・就職・労働環境の実態と意識に関する調査(仮)」の実施に向けた検討を進めた。

## 2. 特別委員会の活動

### (1) 指導者資格特別委員会

- 1) 日本スポーツ協会・スポーツ指導者育成部・指導者育成課より、2025年度共通科目コーチデベロッパー養成講習開催の案内、並びに新規受講者の推薦依頼があった。学会事務局より会員に対して推薦依頼を行い、その結果1名の推薦があった。
- 2) 第1回コーチデベロッパー育成ワーキンググループによる審査の結果、1名が2025年度コーチデベロッパー養成講習会受講内定者として決定された。
- 3) 公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ指導者育成部より2025年度共通科目コーチデベロッパー養成講習会修了者の報告を受けた。
- 4) 体育・スポーツの教育・指導場面における暑熱対策に関するシンポジウム企画を日本スポーツ体育健康科学学術連合に提案し、日本体育・スポーツ・健康学会の後援のもと、2026年度中に実施される運びとなった。

### (2) 領域横断特別委員会

- 1) 第75回大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表を主管校と連携を図りながら運営した。
- 2) 第75回大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表について報告書を作成した。
- 3) 第76回大会へ向けた運用体制について、5つの部会委員長との意見交換会を実施した。
- 4) 学会事務局を通じたシンポジストの招聘・仲介制度の整理を実施した。
- 5) 第76回大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表について企画案を検討し、構成案を取りまとめた。次年度以降には、非会員を含む登壇者の多様性の視点にジェンダーバランスの観点も含めて取り組みを進める。

### (3) 「体育学研究」審査体制検討特別委員会

- 1) 2025年1月から4回にわたる会議を開催し、体育学研究の審査・編集業務に関わる近年の課題への対応方策について提案書(1. 査読結果(C判定)に関する確認体制の整備、2. D判定論文に対する確認体制の整備、3. 査読者の選任に関わる問題への対応、4. 統計的研究手法を用いた論文審査への対応、5. 理系分野の投稿促進方策の検討)を作成した。

## 3. その他の活動

### (1) 健康日本21推進全国連絡協議会

- 1) 2026年2月12日に開催された健康日本21推進全国連絡協議会(身体活動・運動WG)主催の「身体活動・運動関連団体懇談会」に出席した。

- 2) 2026年2月18日に開催された「健康日本21推進全国連絡協議会第28回総会」に出席した。
- 3) 健康日本21推進全国連絡協議会の情報を会員に周知した。

#### 4. 第75回大会の開催

第75回大会を、2025年8月27日(水)から8月29日(金)までの3日間の会期により、日本体育大学において開催した。発表演題数は、テーマ別研究発表120題、専門領域別研究発表429題であった。

#### 事業報告の附属明細書(案)

##### 1. 学会賞・学会奨励賞・浅田学術奨励賞の選考・授与

学会賞候補として18編、学会奨励賞候補として17編の推薦があり、学会賞選考委員会(神崎素樹委員長)において審査の結果、下記の通りそれぞれを候補とし、2025年7月19日開催の理事会において決定し、8月27日の臨時社員総会において授与した。

学 会 賞      跡見 順子      身心一体科学 考え方と方法  
細胞・体軸・エネルギー代謝を意識でつなぐαB-クリスタリン適応理論  
「東京大学出版会」2024/03/11発行

学会奨励賞      村井梨沙子 他      小学校体育授業におけるPACERの有効性に関する検討：  
中学年のマット運動单元における社会的スキルと動きの質に着目して  
「体育学研究」第69巻 229-248頁(原著論文)

浅田学術奨励賞候補の推薦があり、浅田学術奨励賞選考委員会(鈴木明哲委員長)において審査の結果、下記の論文を候補とし、2025年7月19日開催の理事会において決定し、8月27日の臨時社員総会において授与した。

体育哲学      中野 大希      運動実践における痛みの経験再考：  
知覚世界の変容に関する現象学的考察を通して  
「体育学研究」第69巻 351-367頁(原著論文)

体育科教育学      渡部 颯斗 他      インベージョンゲームにおける「攻撃」と「防御」の再  
検討  
「体育学研究」第69巻 515-534頁(原著論文)

## 収 支 計 算 書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考	
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	300	21,172	△ 20,872		
② 特定資産運用収入	特定資産利息収入	特定資産利息収入	25,000	113,815	△ 88,815		
③ 入会金収入	入会金収入	入会金収入	300,000	257,000	43,000	注1	
④ 会費収入	1 正会員会費収入	正会員会費収入	52,800,000	52,915,000	△ 115,000	注2	
	2 賛助会員会費収入	賛助会員会費収入	60,000	80,000	△ 20,000	注3	
会 費 収 入 計			52,860,000	52,995,000	△ 135,000		
⑤ 事業収入	1 学会大会収入	(1) 大会参加費収入	19,553,000	17,303,000	2,250,000		
		(2) 大会号売上収入	0	0	0		
		(3) 広告・協賛金収入	6,000,000	5,480,000	520,000		
		(4) 大学院生参加費補助収入	800,000	620,000	180,000		
		(5) その他収入	180,000	80,000	100,000		
	学会大会収入 計			26,533,000	23,483,000	3,050,000	
	2 その他事業収入	(1) 著者負担金収入	450,000	733,922	△ 283,922		
		(2) 「科学事典」・機関誌等売上収入	300,000	105,500	194,500		
		(3) 購読会員会費収入	700,000	600,000	100,000		
		(4) その他収入	500,000	410,790	89,210	注4	
その他事業収入 計			1,950,000	1,850,212	99,788		
事 業 収 入 計			28,483,000	25,333,212	3,149,788		
⑥ 補助金等収入	民間助成金収入	日本教育シューズ学校体育振興助成金収入	200,000	200,000	0		
	補 助 金 等 収 入 計		200,000	200,000	0		
⑦ 寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	0	0	0		
⑧ 雑収入	受取利息収入	受取利息収入	30,000	108,826	△ 78,826		
事業活動収入 計			81,898,300	79,029,025	2,869,275		
2. 事業活動支出							
① 事業費支出	1 学会大会費支出	(1) 給料手当支出	1,600,000	1,600,000	0		
		(2) 臨時雇賃金支出	1,800,000	3,664,200	△ 1,864,200		
		(3) 会議費支出	500,000	2,485,878	△ 1,985,878		
		(4) 旅費交通費支出	300,000	112,037	187,963		
		(5) 通信運搬費支出	100,000	374,219	△ 274,219		
		(6) 消耗品費支出	3,678,000	4,530,086	△ 852,086		
		(7) 印刷製本費支出	380,000	237,875	142,125		
		(8) 諸謝金支出	600,000	622,535	△ 22,535		
		(9) 委託費支出	21,375,000	23,328,631	△ 1,953,631		
		(10) 大学院生参加費補助支出	800,000	620,000	180,000		
		(11) 参加促進支援費支出	500,000	3,230	496,770		
	学会大会費支出 計			31,633,000	37,578,691	△ 5,945,691	
	2 学会誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0		
		(2) 会議費支出	50,000	0	50,000		
		(3) 旅費交通費支出	50,000	0	50,000		
		(4) 通信運搬費支出	100,000	79,381	20,619		
		(5) 印刷製本費支出	1,500,000	1,281,830	218,170	注5	
(6) 委託費支出		5,150,000	5,142,424	7,576	注6		
学会誌刊行費支出 計			7,010,000	6,663,635	346,365		
3 国際誌刊行費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0			
	(2) 給料手当支出	3,700,000	3,699,484	516			
	(3) 会議費支出	50,000	0	50,000			
	(4) 旅費交通費支出	50,000	0	50,000			
	(5) 委託費支出	1,500,000	952,413	547,587	注7		
国際誌刊行費支出 計			5,380,000	4,731,897	648,103		
4 国際交流費支出	(1) 幹事手当支出	160,000	160,000	0			
	(2) 会議費支出	100,000	0	100,000			
	(3) 旅費交通費支出	3,450,000	3,433,467	16,533			
	(4) 通信運搬費支出	20,000	0	20,000			
	(5) 消耗品費支出	100,000	60,918	39,082			
	(6) 印刷製本費支出	0	0	0			
	(7) 諸謝金支出	200,000	0	200,000			
	(8) 諸会費支出	60,000	50,109	9,891			
	(9) 委託費支出	300,000	13,420	286,580			
	(10) 雑支出	30,000	2,494	27,506			
国際交流費支出 計			4,420,000	3,720,408	699,592		

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
① 事業費支出	5 地域等活動補助費支出	(1) 専門領域補助金支出	1,850,000	1,850,000	0	
		(2) 地域協力学会補助金支出	2,000,000	2,000,000	0	
		地域等活動補助費支出 計	3,850,000	3,850,000	0	
	6 特別委員会費支出	(1) 幹事手当支出	98,000	92,800	5,200	
		(2) 臨時雇賃金支出	50,000	0	50,000	
		(3) 会議費支出	200,000	0	200,000	
		(4) 旅費交通費支出	50,000	37,240	12,760	
		(5) 諸謝金支出	50,000	0	50,000	
		特別委員会費支出 計	448,000	130,040	317,960	
	7 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	240,000	174,000	66,000	
		(2) 会議費支出	220,000	0	220,000	
		(3) 旅費交通費支出	620,000	0	620,000	
		(4) 印刷製本費支出	80,000	0	80,000	
		(5) 賃借料支出	20,000	0	20,000	
		(6) 諸謝金支出	480,000	0	480,000	
		(7) 諸会費支出	10,000	10,000	0	
		(8) 委託費支出	650,000	625,900	24,100	
		(9) 若手会員国際会議派遣支出	1,136,000	1,139,090	△ 3,090	
		(10) 雑支出	75,000	0	75,000	
		常設委員会費支出 計	3,531,000	1,948,990	1,582,010	
	8 学会賞基金事業費支出	(1) 学会賞支出	250,000	250,000	0	
		(2) 通信運搬費支出	1,500	660	840	
		学会賞基金事業費支出 計	251,500	250,660	840	
	9 浅田基金事業費支出	(1) 学術奨励賞支出	200,000	200,000	0	
		(2) 通信運搬費支出	1,500	1,320	180	
		浅田基金事業費支出 計	201,500	201,320	180	
	10 阿江基金事業費支出	(1) 阿江美恵子奨励賞支出	200,000	0	200,000	
(2) 通信運搬費支出		1,500	0	1,500		
阿江基金事業費支出 計		201,500	0	201,500		
11 その他事業費支出	(1) 会議費支出	50,000	47,040	2,960		
	(2) 旅費交通費支出	70,000	69,007	993		
	(3) 諸謝金支出	130,000	111,370	18,630		
	(4) 委託費支出	250,000	217,140	32,860		
	その他事業費支出 計	500,000	444,557	55,443	注 8	
12 事業共通費支出	(1) 給料手当支出	10,500,000	10,488,561	11,439		
	(2) 退職給付費用支出	720,000	672,000	48,000		
	(3) 福利厚生費支出	2,400,000	2,440,830	△ 40,830		
	(4) 会議費支出	40,000	0	40,000		
	(5) 旅費交通費支出	200,000	0	200,000		
	(6) 通信運搬費支出	300,000	261,398	38,602		
	(7) 消耗品費支出	580,000	578,990	1,010		
	(8) 印刷製本費支出	150,000	0	150,000		
	(9) 賃借料支出	280,000	246,163	33,837		
	(10) 事務所使用料支出	4,000,000	3,504,505	495,495		
	(11) 諸謝金支出	600,000	468,682	131,318		
	(12) 租税公課支出	500,000	528,264	△ 28,264		
	(13) 諸会費支出	130,000	67,000	63,000		
	(14) 委託費支出	1,000,000	398,297	601,703		
	(15) 雑支出	40,000	96,360	△ 56,360		
	事業共通費支出 計	21,440,000	19,751,050	1,688,950		
事業費支出 計			78,866,500	79,271,248	△ 404,748	
② 管理費支出	1 常設委員会費支出	(1) 幹事手当支出	80,000	80,000	0	
		(2) 会議費支出	200,000	385,648	△ 185,648	
		(3) 旅費交通費支出	1,000,000	997,615	2,385	
		常設委員会費支出 計	1,280,000	1,463,263	△ 183,263	
		2 その他管理費支出	(1) 給料手当支出	2,630,000	2,622,140	7,860
	(2) 退職給付費用支出		180,000	168,000	12,000	
	(3) 福利厚生費支出		600,000	610,208	△ 10,208	
	(4) 会議費支出		10,000	0	10,000	
	(5) 旅費交通費支出		50,000	0	50,000	
	(6) 通信運搬費支出		300,000	294,069	5,931	
	(7) 消耗品費支出		145,000	144,748	252	
	(8) 印刷製本費支出		40,000	9,897	30,103	
	(9) 賃借料支出		70,000	61,541	8,459	
	(10) 事務所使用料支出		1,000,000	876,126	123,874	
	(11) 諸謝金支出		1,200,000	1,217,171	△ 17,171	
	(12) 会費等入金手数料支出		1,000,000	781,928	218,072	
	(13) 租税公課支出		512,000	7,816	504,184	
	(14) 委託費支出		2,600,000	2,425,315	174,685	
	(15) 雑支出		25,000	24,090	910	
	その他管理費支出 計	10,362,000	9,243,049	1,118,951		
管理費支出 計			11,642,000	10,706,312	935,688	

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動支出 計			90,508,500	89,977,560	530,940	
事業活動収支差額			△ 8,610,200	△ 10,948,535	2,338,335	
<b>II 投資活動収支の部</b>						
1. 投資活動収入						
①特定資産取崩収入	特定資産取崩収入	(1)学会賞引当特定資産取崩収入	251,500	250,000	1,500	
		(2)浅田基金引当特定資産取崩収入	200,100	200,000	100	
		(3)阿江基金引当特定資産取崩収入	401,500	0	401,500	
		(4)システム改修準備金積立資産取崩収入	0	4,105,200	△ 4,105,200	注9
		(5)学会大会費引当特定資産取崩収入	5,000,000	7,500,000	△ 2,500,000	注10
		(6)若手事業引当特定資産取崩収入	2,000,000	1,759,090	240,910	注11
		特定資産取崩収入 計	7,853,100	13,814,290	△ 5,961,190	
投資活動収入 計			7,853,100	13,814,290	△ 5,961,190	
2. 投資活動支出						
① 特定資産取得支出	特定資産取得支出	(1)国際交流引当特定資産取得支出	300	11,996	△ 11,696	
		(2)学会賞引当特定資産取得支出	1,500	5,255	△ 3,755	
		(3)浅田基金引当特定資産取得支出	200	993		
		(4)阿江基金引当特定資産取得支出	5,000,000	5,003,281	△ 3,281	
		(4)システム改修準備金積立資産取得支出	1,001,000	1,006,484	△ 5,484	
		(5)学会大会費引当特定資産取得支出	15,000	73,705	△ 58,705	
		(6)若手事業引当特定資産取得支出	4,000	12,101	△ 8,101	
		特定資産取得支出 計	6,022,000	6,113,815	△ 91,022	
②固定資産取得支出	固定資産取得支出	(1)什器備品購入支出	500,000	465,000	35,000	
		(2)ソフトウェア取得支出	0	4,105,200	△ 4,105,200	注9
		固定資産取得支出 計	500,000	4,570,200	△ 4,070,200	
投資活動支出 計			6,522,000	10,684,015	△ 4,161,222	
投資活動収支差額			1,331,100	3,130,275	△ 1,799,175	
<b>III 財務活動収支の部</b>						
1. 財務活動収入						
財務活動収入 計			0	0	0	
2. 財務活動支出						
財務活動支出 計			0	0	0	
財務活動収支差額			0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>						
予備費支出			(3,000,000)			注12
税引前当期収支差額			△ 7,279,100	△ 7,818,260	539,160	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0	
当期収支差額			△ 7,349,100	△ 7,888,260	539,160	
前期繰越収支差額			71,261,826	71,261,826	0	
次期繰越収支差額			63,912,726	63,373,566	539,160	

注1 1,000円\*257名

注2 本年度会費 10,000円\*5,142名 過年度会費 1,495,000円

注3 20,000円\*4口

注4 著作権使用料 260,790 書籍出版協力費 150,000

注5 第70巻 150部作成

注6 J-STAGE掲載費 171,160 編集委託費 2,139,720 文献等照合費 291,601 査読費 220,000 英文校正費 136,443  
発送委託費 5,500 編集業務委託費 2,178,000

注7 J-STAGE掲載費 61,600 編集委託費 299,200 文献等照合費 99 査読費 130,000 翻訳ブルーフ費 461,514

注8 シンポジウム開催費用及びその他J-STAGE利用料

注9 新会員情報管理システムの完成運用開始が2025年度に延びたため取得支出が発生し、特定資産を同額取り崩した

注10 第75回学会大会は本部交付金を超える支出となったため理事会決議により予算額より多く取り崩した

注11 大学院生参加費補助支出 620,000 若手会員国際会議派遣支出 1,139,090

注12 予備費使用額 学会誌刊行費支出-委託費支出150,000 国際誌刊行費支出-給料手当支出100,000 国際交流費支出-旅費交通費支出850,000  
国際交流費支出-諸会費支出30,000 特別委員会費支出-幹事手当支出50,000 常設委員会費支出-委託費支出450,000  
その他事業費支出-会議費支出50,000 その他事業費支出-旅費交通費支出70,000 その他事業費支出-諸謝金支出130,000  
その他事業費支出-委託費支出250,000 事業共通費支出-給料手当支出500,000 事業共通費支出-消耗品費180,000  
その他管理費支出-給料手当支出130,000 その他管理費支出-消耗品費支出45,000 その他管理費支出-雑支出15,000

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、前払金、仮払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。  
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金・預金	70,785,402	57,885,813
前 払 金	1,333,644	1,292,393
仮 払 金	0	5,000,000
合 計	72,119,046	64,178,206
未 払 金	0	33,000
前 受 金	180,000	210,000
預 り 金	677,220	561,640
合 計	857,220	804,640
次期繰越収支差額	71,261,826	63,373,566

### 3 各委員会ごとの支出内訳

#### 事業費支出

特別委員会費支出	指導者資格	領域横断	「体育学研究」	合 計
幹事手当支出		48,000	44,800	92,800
旅費交通費支出		37,240	0	37,240
特別委員会費支出 計	0	85,240	85,240	130,040

常設委員会費支出	企 画	広 報	研究倫理	政策検討・諮問	学術連合連携	ダイバーシティ	若手研究者	合 計
幹事手当支出		80,000		94,000				174,000
諸会費支出						10,000		10,000
委託費支出		462,000		163,900				625,900
若手会員国際会議派遣支出							1,139,090	1,139,090
常設委員会費支出 計	0	542,000	0	257,900	0	10,000	1,139,090	1,948,990

#### 管理費支出

常設委員会費支出	庶務・会計	総 会	理事会	合 計
幹事手当支出	80,000			80,000
会議費支出	17,060	4,320	364,268	385,648
旅費交通費支出			997,615	997,615
常設委員会費支出 計	97,060	4,320	1,361,883	1,463,263

貸借対照表  
2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	57,885,813	70,785,402	△ 12,899,589
前払金	1,292,393	1,333,644	△ 41,251
仮払金	5,000,000	0	5,000,000
流動資産合計	64,178,206	72,119,046	△ 7,940,840
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
国際交流引当特定資産	5,184,119	5,172,123	11,996
学会賞基金引当特定資産	3,016,750	3,261,495	△ 244,745
浅田基金引当特定資産	2,201,548	2,400,555	△ 199,007
阿江基金引当特定資産	5,003,281	0	5,003,281
システム改修準備金積立資産	4,902,803	8,001,519	△ 3,098,716
学会大会費引当特定資産	27,593,380	35,019,675	△ 7,426,295
若手事業引当特定資産	4,659,171	6,406,160	△ 1,746,989
特定資産合計	52,561,052	60,261,527	△ 7,700,475
(3)その他の固定資産			
什器備品	2,546,628	2,614,275	△ 67,647
ソフトウェア	3,284,160	0	3,284,160
差入保証金	972,000	972,000	0
その他の固定資産合計	6,802,788	3,586,275	3,216,513
固定資産合計	79,363,840	83,847,802	△ 4,483,962
資産合計	143,542,046	155,966,848	△ 12,424,802
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	33,000	0	33,000
前受金	210,000	180,000	30,000
預り金	561,640	677,220	△ 115,580
流動負債合計	804,640	857,220	△ 52,580
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	804,640	857,220	△ 52,580
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	5,200,000	5,650,000	△ 450,000
指定正味財産合計	5,200,000	5,650,000	△ 450,000
(うち特定資産への充当額)	(5,200,000)	(5,650,000)	(△ 450,000)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	137,537,406	149,459,628	△ 11,922,222
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(47,361,052)	(54,611,527)	(△ 7,250,475)
正味財産合計	142,737,406	155,109,628	△ 12,372,222
負債及び正味財産合計	143,542,046	155,966,848	△ 12,424,802

# 正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	当年度	前年度	増減	
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
<b>1. 経常増減の部</b>						
<b>(1) 経常収益</b>						
① 基本財産運用益	基本財産受取利息	基本財産受取利息	21,172	340	20,832	
② 特定資産運用益	特定資産受取利息	特定資産受取利息	113,815	27,666	86,149	
③ 受取入会金	受取入会金	受取入会金	257,000	322,000	△ 65,000	
④ 受取会費	1 正会員受取会費	(1) 本年度受取会費	51,420,000	51,900,000	△ 480,000	
		(2) 過年度受取会費	1,495,000	1,090,000	405,000	
		正会員受取会費計	52,915,000	52,990,000	△ 75,000	
	2 賛助会員受取会費	賛助会員受取会費	80,000	80,000	0	
		受取会費計	52,995,000	53,070,000	△ 75,000	
⑤ 事業収益	1 学会大会収益	(1) 大会参加費収益	17,303,000	12,505,000	4,798,000	
		(2) 大会号売上	0	3,595,000	△ 3,595,000	
		(3) 受取広告・協賛金	5,480,000	6,314,712	△ 834,712	
		(4) 大学院生参加費補助額	620,000	796,000	△ 176,000	
		(5) その他	80,000	150,000	△ 70,000	
		学会大会収益計	23,483,000	23,360,712	122,288	
	2 その他事業収益	(1) 受取著者負担金	733,922	511,454	222,468	
		(2) 「科学事典」・機関紙等売上	105,500	352,500	△ 247,000	
		(3) 購読会員会費収益	600,000	730,000	△ 130,000	
		(4) その他	410,790	557,822	△ 147,032	
		その他事業収益計	1,850,212	2,151,776	△ 301,564	
		事業収益計	25,333,212	25,512,488	△ 179,276	
⑥ 受取補助金等	受取民間助成金	(1) 日本教育シューズ学校体育振興助成金	200,000	200,000	0	
		(2) 日本スポーツ体育健康科学学術連合助成金	0	50,000	△ 50,000	
			受取補助金等計	200,000	250,000	△ 50,000
⑦ 受取寄付金	受取寄付金	(1) 受取寄付金	0	5,000,000	△ 5,000,000	
		(2) 受取寄付金振替額	450,000	350,000	100,000	
			受取寄付金計	450,000	5,350,000	△ 4,900,000
⑧ 雑収益	受取利息	受取利息	108,826	34,182	74,644	
経常収益計			79,479,025	84,566,676	△ 5,087,651	
<b>(2) 経常費用</b>						
① 事業費	1 学会大会費	(1) 給料手当	1,600,000	1,600,000	0	
		(2) 臨時雇賃金	3,664,200	4,283,557	△ 619,357	
		(3) 会議費	2,485,878	1,239,168	1,246,710	
		(4) 旅費交通費	112,037	127,914	△ 15,877	
		(5) 通信運搬費	374,219	87,949	286,270	
		(6) 消耗品費	4,530,086	1,935,335	2,594,751	
		(7) 印刷製本費	237,875	578,565	△ 340,690	
		(8) 賃借料	0	2,014,000	△ 2,014,000	
		(9) 諸謝金	622,535	501,165	121,370	
		(10) 委託費	23,328,631	14,382,734	8,945,897	
		(11) 大学院生参加費補助支出	620,000	796,000	△ 176,000	
		(12) 参加促進支援費	3,230	96,000	△ 92,770	
		(13) 企業展示返金額	0	692,000	△ 692,000	
				学会大会費計	37,578,691	28,334,387
	2 学会誌刊行費	(1) 幹事手当	160,000	160,000	0	
		(2) 通信運搬費	79,381	82,187	△ 2,806	
		(3) 印刷製本費	1,281,830	1,075,140	206,690	
		(4) 委託費	5,142,424	4,439,687	702,737	
			学会誌刊行費計	6,663,635	5,757,014	906,621

大 科 目	中 科 目	小 科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
① 事業費	3 国際誌刊行費	(1) 幹事手当	80,000	80,000	0
		(2) 給料手当	3,699,484	3,458,872	240,612
		(3) 委託費	952,413	1,050,681	△ 98,268
		国際誌刊行費 計	4,731,897	4,589,553	142,344
	4 国際交流費	(1) 幹事手当	160,000	200,000	△ 40,000
		(2) 旅費交通費	3,433,467	608,200	2,825,267
		(3) 消耗品費	60,918	0	60,918
		(4) 諸会費	50,109	0	50,109
		(5) 委託費	13,420	60,340	△ 46,920
		(6) 雑費	2,494	22,510	△ 20,016
		国際交流費 計	3,720,408	891,050	2,829,358
	5 地域等活動補助費	(1) 領域補助金	1,850,000	1,850,000	0
		(2) 地域補助金	2,000,000	2,000,000	0
		地域等活動補助費 計	3,850,000	3,850,000	0
	6 特別委員会費	(1) 幹事手当	92,800	48,000	44,800
		(2) 旅費交通費	37,240	0	37,240
		特別委員会費 計	130,040	48,000	82,040
	7 常設委員会費	(1) 幹事手当	174,000	240,000	△ 66,000
		(2) 会議費	0	132,871	△ 132,871
		(3) 旅費交通費	0	127,560	△ 127,560
		(4) 印刷製本費	0	4,227	△ 4,227
		(5) 諸謝金	0	135,970	△ 135,970
		(6) 諸会費	10,000	10,000	0
		(7) 委託費	625,900	553,282	72,618
		(8) 若手会員国際会議派遣費	1,139,090	922,680	216,410
		常設委員会費 計	1,948,990	2,126,590	△ 177,600
	8 学会賞基金事業費	(1) 学会賞費	250,000	250,000	0
		(2) 通信運搬費	660	1,320	△ 660
		学会賞基金事業費 計	250,660	251,320	△ 660
	9 浅田基金事業費	(1) 学術奨励賞費	200,000	100,000	100,000
		(2) 通信運搬費	1,320	660	660
		浅田基金事業費 計	201,320	100,660	100,660
	10 その他事業費	(1) 会議費	47,040	0	47,040
		(2) 旅費交通費	69,007	0	69,007
		(3) 諸謝金	111,370	0	111,370
		(4) 委託費	217,140	0	217,140
		その他事業費 計	444,557	0	444,557
	11 事業共通費	(1) 給料手当	10,488,561	9,802,654	685,907
		(2) 退職給付費用	672,000	672,000	0
		(3) 福利厚生費	2,440,830	2,389,450	51,380
		(4) 旅費交通費	0	188,873	△ 188,873
		(5) 通信運搬費	261,398	241,053	20,345
		(6) 減価償却費	426,118	356,368	69,750
		(7) 消耗品費	578,990	363,164	215,826
		(8) 印刷製本費	0	110,158	△ 110,158
		(9) 賃借料	246,163	266,074	△ 19,911
		(10) 事務所使用料	3,504,505	3,502,695	1,810
		(11) 諸謝金	468,682	418,321	50,361
		(12) 租税公課	528,264	29,160	499,104
		(13) 諸会費	67,000	122,000	△ 55,000
		(14) 委託費	398,297	990,158	△ 591,861
(15) 雑費		96,360	12,762	83,598	
事業共通費 計	20,177,168	19,464,890	712,278		
事業費 計			79,697,366	65,413,464	14,283,902

大 科 目	中 科 目	小 科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	1 常設委員会費	(1) 幹事手当	80,000	80,000	0
		(2) 会議費	385,648	102,019	283,629
		(3) 旅費交通費	997,615	392,818	604,797
		常設委員会費 計	1,463,263	574,837	888,426
	2 その他管理費	(1) 給料手当	2,622,140	2,450,663	171,477
		(2) 退職給付費用	168,000	168,000	0
		(3) 福利厚生費	610,208	597,362	12,846
		(4) 旅費交通費	0	47,218	△ 47,218
		(5) 通信運搬費	294,069	632,397	△ 338,328
		(6) 減価償却費	927,569	89,092	838,477
		(7) 消耗品費	144,748	90,791	53,957
		(8) 印刷製本費	9,897	27,540	△ 17,643
		(9) 賃借料	61,541	66,518	△ 4,977
		(10) 事務所使用料	876,126	875,674	452
		(11) 諸謝金	1,217,171	1,149,580	67,591
		(12) 会費等入金手数料	781,928	780,669	1,259
		(13) 租税公課	7,816	7,290	526
		(14) 委託費	2,425,315	3,487,955	△ 1,062,640
		(15) 雑費	24,090	3,190	20,900
		その他管理費 計	10,170,618	10,473,939	△ 303,321
	管 理 費 計	11,633,881	11,048,776	585,105	
経 常 費 用 計			91,331,247	76,462,240	14,869,007
評価損益等調整前当期経常増減額			△ 11,852,222	8,104,436	△ 19,956,658
基本財産評価損益等			0	0	0
特定資産評価損益等			0	0	0
評価損益等計			0	0	0
当期経常増減額			△ 11,852,222	8,104,436	△ 19,956,658
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
①前期損益修正益	前期損益修正益	前期損益修正益	0	0	0
経 常 外 収 益 計			0	0	0
(2) 経常外費用					
①前期損益修正損	前期損益修正損	前期損益修正損	0	0	0
経 常 外 費 用 計			0	0	0
当期経常外増減額			0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額			△ 11,852,222	8,104,436	△ 19,956,658
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額			△ 11,922,222	8,034,436	△ 19,956,658
一般正味財産期首残高			149,459,628	141,425,192	8,034,436
一般正味財産期末残高			137,537,406	149,459,628	△ 11,922,222
II 指定正味財産増減の部					
①一般正味財産への振替額	一般正味財産への振替額	一般正味財産への振替額	△ 450,000	△ 350,000	△ 100,000
当期指定正味財産増減額			△ 450,000	△ 350,000	△ 100,000
指定正味財産期首残高			5,650,000	6,000,000	△ 350,000
指定正味財産期末残高			5,200,000	5,650,000	△ 450,000
III 正味財産期末残高			142,737,406	155,109,628	△ 12,372,222

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について  
定額法による減価償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準について  
中小企業退職共済に加入しており自社退職金制度はないため、退職給付引当金は計上していない。
- (3) 消費税等に関する会計処理方法  
税込方式で行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000			20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
国際交流引当特定資産	5,172,123	11,996		5,184,119
学会賞基金引当特定資産	3,261,495	5,255	250,000	3,016,750
浅田基金引当特定資産	2,400,555	993	200,000	2,201,548
阿江基金引当特定資産		5,003,281		5,003,281
システム改修準備金積立資産	8,001,519	1,006,484	4,105,200	4,902,803
学会大会費引当特定資産	35,019,675	73,705	7,500,000	27,593,380
若手事業引当特定資産	6,406,160	12,101	1,759,090	4,659,171
小 計	60,261,527	6,113,815	13,814,290	52,561,052
合 計	80,261,527	6,113,815	13,814,290	72,561,052

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000		(20,000,000)	-
小 計	20,000,000		(20,000,000)	-
特定資産				
国際交流引当特定資産	5,184,119		(5,184,119)	
学会賞基金引当特定資産	3,016,750	(3,000,000)	(16,750)	
浅田基金引当特定資産	2,201,548	(2,200,000)	(1,548)	
阿江基金引当特定資産	5,003,281		(5,003,281)	
システム改修準備金積立資産	4,902,803		(4,902,803)	
学会大会費引当特定資産	27,593,380		(27,593,380)	
若手事業引当特定資産	4,659,171		(4,659,171)	
小 計	52,561,052	(5,200,000)	(47,361,052)	(0)
合 計	72,561,052	(5,200,000)	(67,361,052)	(0)

4 担保に供している資産

該当なし

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	5,235,591	2,688,963	2,546,628
ソフトウェア	4,105,200	821,040	3,284,160
差入保証金	972,000	-	972,000
合 計	10,312,791	3,510,003	6,802,788

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

7 保証債務等の偶発債務

該当なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

9 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
民間助成金						
学校体育振興助成金	日本教育シューズ	0	200,000	200,000	0	-
合 計		0	200,000	200,000	0	

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的使用による指定解除額	
受取寄付金(学会賞基金)	250,000
受取寄付金(浅田基金)	200,000
合 計	450,000

11 関連当事者との取引の内容

該当なし

12 その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 附 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載。

### 2. 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録

2026年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	取得価額	金額	
<b>(流動資産)</b>					
現金 預金	小口現金		—	0	
	普通預金	三菱UFJ銀行渋谷支店	—	50,493,915	
	普通預金	三井住友信託銀行芝営業部	—	231,632	
	振替貯金	東京貯金事務センター	—	6,157,584	
	定期預金	三菱UFJ銀行渋谷支店 (預金計)	—	1,002,682	(57,885,813)
現金預金合計				57,885,813	
前払金	第76回学会大会の費用前払い		—	1,292,393	
仮払金	第76回学会大会主管校への大会費仮払い			5,000,000	
流動資産合計				64,178,206	
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	預金	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	20,000,000	
基本財産合計				20,000,000	
特定資産	国際交流引当特定資産	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	3,680,000	
		普通預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	84,056	
		定期預金 三菱UFJ銀行渋谷支店 (国際交流引当特定資産計)	—	1,420,063	(5,184,119)
	学会賞基金引当特定資産	普通預金 三井住友信託銀行芝営業部 (学会賞基金引当特定資産計)	—	3,016,750	(3,016,750)
		浅田基金引当特定資産	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	2,000,000
	普通預金 三井住友信託銀行芝営業部 (浅田基金引当特定資産計)		—	201,548	(2,201,548)
	阿江基金引当特定資産	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	3,000,000	
		普通預金 三井住友信託銀行芝営業部 (浅田基金引当特定資産計)	—	2,003,281	(5,003,281)
	システム改修準備金積立預金	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	—	2,000,000	
		普通預金 三井住友信託銀行芝営業部 (システム改修準備金積立資産計)	—	2,902,803	(4,902,803)
学会大会引当特定資産	普通預金 三菱UFJ銀行渋谷支店	—	27,593,380		
若手事業引当特定資産	普通預金 三菱UFJ銀行渋谷支店	—	4,659,171		
特定資産合計				52,561,052	
その他の固定資産	什器備品	スライド式棚	1,445,592	783,756	
		パソコン10台	1,645,897	570,863	
		事務機・椅子4セット	918,732	498,114	
		収納棚・ロッカー5台	666,967	361,607	
		会議テーブル1台	119,212	64,634	
		ドアパネル	184,932	100,267	
		金庫	254,259	167,387	
		(什器備品計)	(5,235,591)	(2,546,628)	
	ソフトウェア	新会員管理システム	4,105,200	3,284,160	
	差入保証金	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREビル入居保証金	—	972,000	
その他の固定資産合計				6,802,788	
固定資産合計				79,363,840	
資産合計				143,542,046	
<b>(流動負債)</b>					
未払金	3月発生、4月クレジット決済の費用			33,000	
	前受金	次年度会費の前受け	—	80,000	
		第74回学会大会協賛金の前受け (前受金計)	—	130,000	(210,000)
預り金	地域会費の一時預り	—	433,500		
	源泉所得税・住民税等 (預り金計)	—	128,140	(561,640)	
流動負債合計				804,640	
負債合計				804,640	
正味財産				142,737,406	

収支計算書（概要）

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：千円)

大科目	中科目	予算額	決算額	差異	差異理由等の説明	
<b>I 事業活動収支の部</b>						
1. 事業活動収入	① 入会金・会費収入	入会金・会費収入	53,160	53,252	△ 92	年々減少しているが、当年度は予算を上回った。
	② 事業収入	1 学会大会収入	26,533	23,483	3,050	参加費収入が225万円、広告・協賛金収入が55万円予算を下回った。
		2 その他事業収入	1,950	1,850	100	
		事業収入計	28,483	25,333	3,150	
	③ 補助金・寄付金収入	補助金・寄付金収入	200	200	0	
④ 雑収入	受取利息収入	55	244	△ 189		
<b>事業活動収入計</b>		<b>81,898</b>	<b>79,029</b>	<b>2,869</b>		
2. 事業活動支出	① 事業費支出	1 学会大会費支出	31,633	37,579	△ 5,946	大会収支900万円の支出超過
		2 学会誌・国際紙刊行費支出	12,390	11,395	995	
		3 国際交流費支出	4,420	3,720	700	
		4 地域等活動補助費支出	3,850	3,850	0	
		5 委員会費支出	3,979	2,079	1,900	
		6 学会賞・浅田賞・阿江賞支出	654	452	202	
		7 その他事業費・共通費支出	21,940	20,196	1,744	
	事業費支出計	78,866	79,271	△ 405		
	② 管理費支出	管理費支出	11,642	10,706	936	
<b>事業活動支出計</b>		<b>90,508</b>	<b>89,977</b>	<b>531</b>		
<b>事業活動収支差額</b>		<b>△ 8,610</b>	<b>△ 10,948</b>	<b>2,338</b>		
<b>II 投資活動収支の部</b>						
1. 投資活動収入	① 特定資産取崩収入	特定資産取崩収入 計	7,853	13,814	△ 5,961	大会収支が900万円の支出超過のため、理事会決議により学会大会費特定資産の取崩しを予算500万円→750万円に増額した。また、新会員管理システムの完成が当年度となりシステム改修準備金の予算外取崩し410万円を行った。
	<b>投資活動収入計</b>		<b>7,853</b>	<b>13,814</b>	<b>△ 5,961</b>	
2. 投資活動支出	① 特定資産取得支出	特定資産取得支出 計	6,022	6,114	△ 92	
	② 固定資産取得支出	固定資産取得支出 計	500	4,570	△ 4,070	新会員情報管理システム410万円の完成が当年度となり、予算外取得
<b>投資活動支出計</b>		<b>6,522</b>	<b>10,684</b>	<b>△ 4,162</b>		
<b>投資活動収支差額</b>		<b>1,331</b>	<b>3,130</b>	<b>△ 1,799</b>		
<b>III 財務活動収支の部</b> ※収入、支出ともに0円のため割愛。						
<b>IV 収支差額</b>						
収支差額	税引前当期収支差額		△ 7,279	△ 7,818	539	
	法人税、住民税及び事業税		70	70	0	
	<b>当期収支差額</b>		<b>△ 7,349</b>	<b>△ 7,888</b>	<b>539</b>	ほぼ予算通り
	前期繰越収支差額		71,262	71,262	0	
	<b>次期繰越収支差額</b>		<b>63,913</b>	<b>63,374</b>	<b>539</b>	次期に繰り越す運転資金は約6330万円となり、ほぼ予算通り。 期末流動資産64,178,206-期末流動負債804,640に一致している。

2026年5月12日

## 監査報告

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会  
会長 來田 享子 殿

一般社団法人 日本体育・スポーツ・健康学会

監事 碓井 敦子 (印略)

監事 沢井 史穂 (印略)

監事 田中ウルヴェ京 (印略)

監事 深澤 浩洋 (印略)

私たちは、2025年4月1日から2026年3月31日までの事業年度における事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査を行い、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁書類を閲覧し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行状況について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していると認めます。

(2) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。

(3) 理事の職務執行に関し、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

## 2028・2029年度学会大会主管校候補について

開催年 : 2028年  
主管校候補 : 山梨学院大学

開催年 : 2029年  
主管校候補 : 立教大学

### <参考>

2026年 北翔大学

2027年 東京学芸大学

## 「80年記念誌特別委員会」の新設について

常務理事 関根 正美

## 1. 特別委員会新設にかかわる提案の趣旨

2023-2024 理事会において本学会 80 年記念誌制作に関わる最初のスケジュール案が報告事項として提示され、意見募集が行われた。次いで 2025-2026 第 4 回理事会審議に審議事項として提案された基本スケジュール案が承認され、第 5 回理事会において委員会規定第 3 条に照らし合わせて特別委員会の設置が承認された。その後、運営委員会において特別委員会の活動内容に関する議論が行われ、第 7 回理事会で下記の提案を審議し、承認を得たのち、2026 年 6 月開催予定の総会で提案する。総会での承認を経て委員会を始動させる。

## 2. 特別委員会の委員（案）

委員長：木塚朝博 副会長

委員（運営委員会）：來田享子 会長、山口香 副会長、伊坂忠夫 副会長、  
関根正美 常務理事、須永美歌子 庶務委員長

委員（若手の会）：辻大士 氏、梶ちか子 氏、大高千明 氏、平塚卓也 氏

## 3. 特別委員会の主な検討事項

## ・基本方針

目的 本学会は 1950 年（昭和 25 年）2 月に設立され、2021 年（令和 3 年）4 月に学会名が日本体育・スポーツ・健康学会に改称されながらも、2030 年（令和 12 年）に 80 周年を迎える本学会のこれまでの歩みをまとめて刊行する。

- 1) これまでの記念誌（20 年のあゆみ；体育の科学掲載、50 年のあゆみ；体育学研究掲載、60 年記念誌；304 ページ）を電子化する。
- 2) これらの電子化されたものを Vol.1、Vol.2、Vol.3 などと称し、最近 20 年分を追記する形で 80 年記念誌（Vol.4）を電子版として刊行する。
- 3) 刊行予定は、2030 年に開催される第 80 回学会大会でとする。

## ・編集委員会の立ち上げ

- 1) 2026 年 11 月を目処に、特別委員会での議論を経て編集委員会を立ち上げ、業務を移行する。
- 2) 編集委員会への業務移行までに、特別委員会において 80 年記念誌の骨格（全体の構成）を検討し、編集委員会へ提案できるように準備を進める。

以上

## 体育史専門領域の名称変更に伴う諸規程の改正について

### ①代議員選挙規程

改正案	現行
<p>(専門領域区分)</p> <p>第5条 専門領域の区分及び定数は、次のようにする。</p> <p>(1) 区分は、体育哲学、<u>体育・スポーツ史</u>、体育社会学、体育心理学、運動生理学、バイオメカニクス、体育経営管理、発育発達、測定評価、コーチング学、保健、体育科教育学、スポーツ人類学、アダプテッド・スポーツ科学、介護予防・健康づくり、体育・スポーツ政策の16区分とする。</p>	<p>(専門領域区分)</p> <p>第5条 専門領域の区分及び定数は、次のようにする。</p> <p>(1) 区分は、体育哲学、<u>体育史</u>、体育社会学、体育心理学、運動生理学、バイオメカニクス、体育経営管理、発育発達、測定評価、コーチング学、保健、体育科教育学、スポーツ人類学、アダプテッド・スポーツ科学、介護予防・健康づくり、体育・スポーツ政策の16区分とする。</p>

### ②専門領域設置に関する規程

改正案	現行
<p>第1条 専門領域は、次の通りとする。</p> <p>体育哲学 <u>体育・スポーツ史</u> 体育社会学 体育心理学 運動生理学 バイオメカニクス 体育経営管理 発育発達 測定評価 コーチング学 保健 体育科教育学 スポーツ人類学 アダプテッド・スポーツ科学 介護予防・健康づくり 体育・スポーツ政策</p>	<p>第1条 専門領域は、次の通りとする。</p> <p>体育哲学 <u>体育史</u> 体育社会学 体育心理学 運動生理学 バイオメカニクス 体育経営管理 発育発達 測定評価 コーチング学 保健 体育科教育学 スポーツ人類学 アダプテッド・スポーツ科学 介護予防・健康づくり 体育・スポーツ政策</p>

総会資料

2026年6月10日

日本体育・スポーツ・健康学会  
第77回大会大会実行委員会

日本体育・スポーツ・健康学会第77回大会

2027年10月に開催予定の第77回大会につきまして以下の通りご報告いたします。

1. 日程・会場案

日程：2027（令和9）年10月5日（火）、6日（水）、7日（木）の3日間  
会場：東京学芸大学

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4丁目1-1  
東京学芸大学

[国立大学法人 東京学芸大学](https://www.u-gakugei.ac.jp/)

<https://www.u-gakugei.ac.jp/>

2. 開催形式案

全日程とも対面での開催

以上

**2026年度日本体育・スポーツ・健康学会諸会議日程**

- 2026年4月11日（土）13：00～ 第7回理事会
- 2026年5月23日（土）13：00～ 第8回理事会
- 2026年6月20日（土）13：00～ 定時社員総会
- 2026年7月18日（土）13：00～ 第9回理事会
- 2026年8月26日（水）13：00～ 第10回理事会
- 2026年9月1日（火） 8：30～ 臨時社員総会 \*学会大会2日目
- 2026年10月24日（土）13：00～ 第11回理事会
- 2026年12月19日（土）13：00～ 第12回理事会
- 2027年3月13日（土）13：00～ 第13回理事会

## &lt;その他&gt;

- 2026年8月31日（月） 地域協力学会連絡会議 \*学会大会1日目
- 2026年9月2日（水） 専門領域連絡会議 \*学会大会3日目

\*第76回大会（北翔大学）：2026年8月31日（月）～9月2日（水）